

**Q** 仕事の疑問  
**相談室**  
鳥取労働局

**A** 烏取県内で昨年1年間に発生した労働災害で、休業4日以上の労働者数は465人でした。(このことになりました。社長 うち最も多かったのは「転倒災害」です。

したが、それほど大きなのがでもないのに、改善が必要なのでしょうか。

鳥取県内で昨年1年間に発生した労働災害で、休業4日以上の労働者数は465人でした。(このことになりました。社長 うち最も多かったのは「転倒災害」です。

## 労働災害では「転倒災害」が多発

高所からの「墜落災害」や機械に身体が巻き込まれる「巻き込み災害」は、重篤な災害につながる恐れがあります。その防止対策は法令で細かく規定されています。企業は災害防止に取り組み、その結果、発生件数は減少しています。

一方、「転倒災害」は法令の規定も少なく、「滑った、転んだ」災害の発生件数は増加しています。「転倒災害」では手首など骨折するケースが多く、被災者の3人に2人が1ヵ月以上休業するなど、その被害は決して軽くはありません。また、被災者は50歳以上に集中しています。

水を使う食料品製造業やバックヤードに商品が山積みされる卸・小売業で多く発生していることから、作業場所や作業内容、働く人の年齢などに応じた改善が必要です。

大きなかぎではなくがちです。このため、他の災害に比べて防止対策は進まず、発生件数は増加しています。「転倒災害」では手首などを骨折するケースが多く、被災者の3人に2人が1ヵ月以上休業するなど、その被害は決して軽くはありません。また、被災者は50歳以上に集中しています。

鳥取労働局労働基準部健康安全課 電話 0857-29-1704